

新庁舎 Vol.1 建設だより

財政課 ☎ 0738-23-5533



いよいよ本格工事 地盤改良(液状化対策)を 実施中

【予定期間：令和3年12月～令和4年2月】

新庁舎建設地の地質調査を行った結果、20mより浅い土層においては、大地震時に液状化*の可能性があると判定されました。

そこで、液状化対策のために「静的締固め砂杭工法」という工法により、地中約22mの深さに達する「砂杭：すなぐい」を385本築造することにしました。

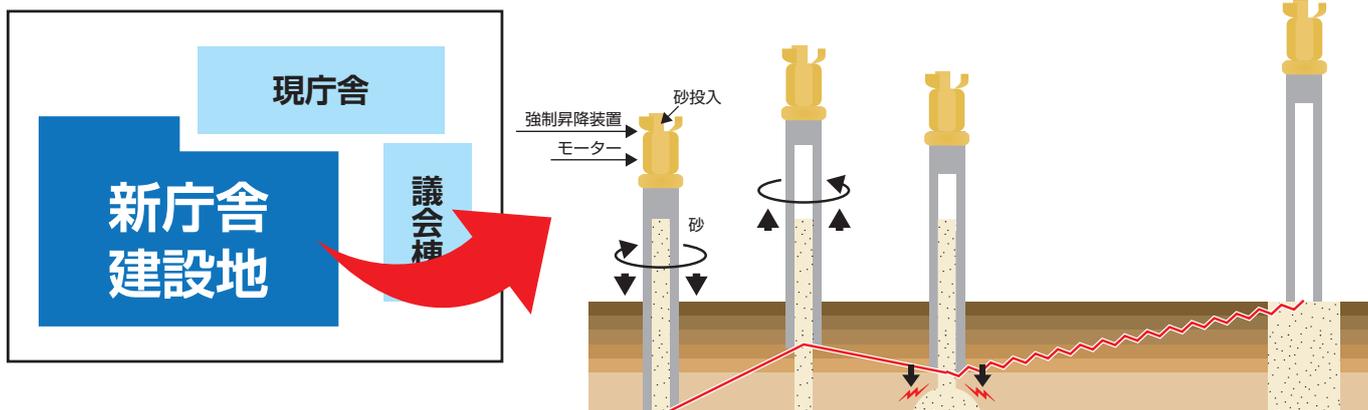
これは、鋼管ケーシング（直径70cmの筒）を回転圧入により地中に入らせた後、ケーシング内に砂を圧入しながらケーシングの引抜きと打込みを繰り返し、砂杭を築造する工法です。「静的」というだけあって、比較的大きな音が出にくい工法です。

※液状化…地震等の振動により地盤が液体のような現象。これにより建物が沈下・傾斜したりすることがあります。



◎敷地内に385本の「砂杭」を造り、液状化を防ぎます。(静的締固め砂杭工法)

- ① 砂投入
- ② 砂を出す
- ③ 押し固める
- ④ ②～③を繰り返す
- ⑤ 抜き出す



見てみよら

ホームページで映像を公開しています。御坊市ホームページにて「新庁舎建設工事の定点カメラ映像公開」で検索してください。

また、11月に策定した「御坊市新庁舎実施設計概要版」も公開しています。

■ 現庁舎屋上に設置した定点カメラで撮影



←定点カメラ映像公開
ホームページQR



掘削作業の様子